



50mに渡って1,500袋の土のうを積む訓練を実施！ ～平成27年度練馬区・第十消防方面合同総合水防訓練～

と き 5月23日(土)午前10時から正午まで

ところ 都立城北中央公園都民の森(氷川台1-8)

23日、区は、都立城北中央公園(氷川台1丁目)で、『平成27年度練馬区・第十消防方面合同総合水防訓練』を実施し、区民や防災関係機関など約1,000の方が参加した。

訓練の想定は「局地的な集中豪雨の影響により、石神井川が増水し、道路冠水や、住宅・地下室への浸水被害が多数発生した」というもの。

今年度は、実際の河川に沿って、50mに渡って約1,500袋を超える土のうを積む訓練を行った。なお、訓練全体で使用した土のうの数は約2,500袋であった。

会場では、防災関係機関が連携し可搬ポンプで浸水箇所から排水する訓練をはじめ、消防署の特別救助隊による河川に取り残された人の救助訓練など、実践さながらの訓練が行われた。



【50mに渡る土のう積み訓練の様子】

【梅雨・台風シーズンに向けて実施する水防訓練】

総合水防訓練は、これから迎える梅雨や台風シーズンを前に、水害に対応する水防工法や避難誘導など、災害対応力の向上を図ることを目的に、毎年行なわれている。

訓練には区と消防署、消防団、警察署などの防災関係機関やライフライン機関(東京電力株、東京ガス株、東京都下水道局)練馬土木協会、東京消防庁の災害時支援ボランティアや町会など、約1,000人が参加した。

普段は各団体がそれぞれ訓練を行っているが、当日は各団体の連携を確認し、迅速かつ確実な災害対応を行った。



【救助訓練の様子】

【当日の様子】

河川内に人が！取り残された人を救助！

訓練では、河川内に取り残された人の救助訓練を実施。消防署の特別救助隊が河川内に降り、区民役の消防署員を無事救助した。本番さながらの緊迫感のある訓練に、見学していた区民からは拍手が沸いた。

訓練のほかにも大人から子どもまで参加できる各コーナーが出演！

当日は、はしご車の搭乗や起震車体験、子どものレスキュー体験、ミニ消防車の運転体験、白バイの展示、ミニ防火衣を着用しての写真撮影など、大人から子どもまで楽しみながら参加できるイベントを行った。

また、消防署のマスコットキャラクターである「キュータ」が、風水害への備えについて関心を持ってもらうように、参加者に呼びかけた。



【はしご車搭乗体験の様子】